

第3次広島県がん対策推進計画 情報提供・相談支援分野 骨子案

【目指す姿】

- 県民一人ひとりががんに関する正しい情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。
- がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。
- 医療機関や教育機関・職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が教育・仕事・家庭生活と治療を両立させながら、尊厳を持って自分らしく生きることができています。
- がん患者・経験者等が個々のライフステージに応じた様々な課題について、切れ目のない必要な支援を受けることができています。

【全体の数値目標】

- （設定しない）※個別に数値目標等を設定

【今後の方向性】

項 目	方 向 性
1 がんに関する情報提供・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆ニーズに沿ったきめ細やかな情報提供の推進 ◆がん診療連携拠点病院の情報提供機能の強化 ◆がん患者団体等からの情報提供の推進 ◆「広島がんネット」の充実 ◆学校教育におけるがん教育の実践
2 がん患者・家族等への相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談支援体制の充実 ◆ピアサポートの充実 ◆相談支援センター等の広報強化 ◆がん患者団体等の活動充実・強化
3 がん患者・経験者等の教育支援・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習と治療の両立支援 ◆仕事や家庭生活と治療の両立支援 ◆働きやすい職場環境と相談支援体制づくり
4 ライフステージに応じた支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆小児・AYA世代への支援 ◆高齢者世代への支援

第3次広島県がん対策推進計画の「情報提供・相談支援分野」における国計画への対応方針

項目	広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
<p>情報提供 相談支援</p>	<p>【目指す姿】</p> <p>①県民一人ひとりががんに関する正しい情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。</p> <p>②がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。</p> <p>③医療機関や職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が仕事や家庭生活と治療を両立させながら、安心して自分らしく豊かに暮らしています。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>1 がんに関する情報提供・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体と連携した情報提供の推進 ・がん診療連携拠点病院の情報 	<p>【目指す姿】 がんとの共生</p> <p>がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境整備を行う。関係者等が、医療・福祉・介護・産業保健分野と連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や、就労支援等を行う仕組みを構築することで、がん患者がいつでも、どこに居ても、尊厳を持って安心して生活し、自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>1 がんに関する情報提供・普及啓発</p>	<p>【目指す姿】</p> <p>①県民一人ひとりががんに関する正しい情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。</p> <p>②がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。</p> <p>③医療機関や教育機関・職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が教育・仕事・家庭生活と治療を両立させながら、尊厳を持って自分らしく生きることができています。</p> <p>④小児、AYA世代、高齢者等といった個々のライフステージに応じて、必要な支援を総合的に受けることができています。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>1 がんに関する情報提供・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニーズに沿ったきめ細やかな情報提供の推進 ◆がん診療連携拠点病院の情報提供機能の強化 ◆がん患者団体等からの情報提供の推進 ◆「広島がんネット」の充実

<p>提供機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者団体等からの情報提供の推進 ・「広島がんネット」の充実 ・子どもの頃からのがんに対する正しい理解に向けた取組推進 ・子供を対象としたがんの出前講座実施など 	<ul style="list-style-type: none"> ・医業等のウェブサイトの監視体制の強化による医療機関等のウェブサイトの適正化（国） ・科学的根拠に基づく情報の国民への提供（国立がん研究センター） ・不適切な情報に対する注意喚起等の効果的な普及啓発（国立がん研究センター） <ul style="list-style-type: none"> ・障害等によってコミュニケーションに配慮が必要な者への対応（国立がん研究センター） ・がんに対する「偏見」の払拭等のため科学的根拠に基づいたがんに関する知識の取得の機会の提供（地方公共団体） ・がん検診や緩和ケア等の普及活動の推進（国，地方公共団体） ・民間団体によって実施されている普及啓発活動に対するより一層の支援（国，地方公共団体） ・がん相談支援センターやがん情報サービスに関する広報（国，地方公共団体） ・雇用者や被保険者・被扶養者へのがんに関する正しい知識の普及（事業主，医療保険者） 	<p>⇒国において対応</p> <p>⇒国において対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(県)県民がウェブサイトにより不適正な情報入手することのない体制を，広島がんネットを充実させる（=がんネットには国がんサイトに掲載している情報しか掲載しない，またそういったサイトであることの普及啓発等）ことにより構築する。</p> </div> <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒各分野における普及啓発の充実</p> <p>⇒各分野における普及啓発の充実</p> <p>⇒各分野における普及啓発の充実</p> <p>⇒各分野における普及啓発の充実</p> <p>⇒各分野における普及啓発の充実</p>
---	--	--

	<p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的ながん対策に取り組む民間企業等の評価制度の創設による民間企業と連携したがん対策の実施 ・がん対策トータルサポート企業（仮称）として評価する民間企業等数 ・「広島がんネット」のアクセス件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員や外部講師を対象としたがん教育を実施する上での留意点や指導方法についての研修会等を実施（国） ・県及び市町において，教育委員会と衛生主管部局が連携して会議体を設置し，関係団体とも協力して外部講師を活用することを支援（国） 	<p>◆学校教育におけるがん教育の実践</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県) 引き続き教員に対する研修会を実施するとともに，外部講師を対象とした研修会を実施する。</p> </div> <p>⇒国の支援を活用しつつ実践</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県) 県・市教育委員会，医師会及びがん対策課を構成員とする会議において，外部講師の派遣を含めた授業の実施について検討，実践につなげる。</p> </div> <p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Team がん対策ひろしま」として評価する民間企業等数 ・「広島がんネット」のアクセス件数 <p>※がん教育については教育委員会と調整</p>
--	---	--	--

<p>2 がん患者・家族等への相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援体制の充実 ピア・サポートの充実 相談支援センター等の広報強化 がん患者団体等の活動充実・強化 小児がんへの対応など 	<p>2 がん患者・家族等への相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内でがん相談支援センターをより効果的に活用するための方策の検討（拠点病院等） がん相談支援センターの更なるネットワークの構築（拠点病院等） PDCAサイクルの実施による相談支援の質の担保と格差の解消（拠点病院等） 相談に携わる者に対する継続的な研修を実施する仕組みの検討（拠点病院等） 多様化・複雑化する相談支援のニーズに対応できる、より効率的・効果的な相談支援体制の構築（国） 院内でより効果的ながん相談支援センターを活用するための検討（国，国立がん研究センター） 	<p>2 がん患者・家族等への相談対応</p> <p>◆相談支援体制の充実</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県)引き続き、がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会により連携を深めるとともに、更なる連携強化を目指す。</p> </div> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県)相談支援センターにおける業務等について相互評価を行うなど、PDCA サイクルを導入した取組に着手している。</p> </div> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県)相談支援部会において、定期的に相談に携わる者への研修を実施している。</p> </div> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県)就労支援などの高まっているニーズにも対応できるよう、更なる充実を図る。</p> </div> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(県)相談支援センターが最も機能を発揮することができる環境を構築するべく、各拠点病院において体制整備を図る。</p> </div>
--	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援に携わる者に対する研修のあり方の見直し (国, 国立がん研究センター) ・がん患者の経済的な課題の解決に向けた施策の検討 (国) ・がん患者の生殖機能の温存等についての相談支援, 情報提供の仕組みの検討 (国) ・家族性腫瘍に関する相談先や人材育成など, 情報・質の集約化へ向けた診断, 治療, 相談体制の整備と質の担保のあり方の検討 (国) ・がん相談支援センターを中心とした自殺防止のための専門的な精神心理的なケアにつなぐための体制の構築と周知 (国) ・障害者福祉専門支援機関と拠点病院等の連携を促進できる仕組みの検討 (国) ・ユニバーサルな視点を取り入れた患者支援の検討 (国) (注: 「ユニバーサルな視点」とは, 「バリアフリー」のように, 既存の状況を前提として, 利用できない環境を特別な方法で解決するという考え方ではなく, 物事的设计の段階から「広く誰もが」という普遍的 (ユニバーサル) な考え方に基づく視点のこと。) ・がん罹患後の後遺症に対する診療ガイドラインの作成等のサバイバーシップ研究の推進 (国) ・ピアサポートの研修内容の見直し等 (国) 	<p>⇒国において対応</p> <p>⇒国において検討</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国において対応</p> <p>◆ピアサポートの充実</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(県)県で養成したピアサポーターが拠点病院等で活動できる環境を整備する。</p> </div>
--	--	--	---

- ・がん相談支援センターの院内，院外への広報
(拠点病院等)

《分野目標及び参考指標》

- ・院外相談件数が増加した相談支援センター
- ・患者サロン参加者数が増加した相談支援センター
- ・ピア・サポートによる相談支援センターと連携したがん相談の実施
- ・ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成人数

◆相談支援センター等の広報強化

⇒国と同様に対応

(県)拠点病院内に向けた分かりやすい広報をより一層充実させるとともに，院外に向けては，地域の医療機関を通じて情報提供を行うなど，必要な人の手に届く広報に取り組む。

◆がん患者団体等の活動充実・強化

(県)相談支援機能のみならず，正しい知識の情報提供機能も有するがん患者団体等に関して，情報の普及啓発に取り組む。

《分野目標及び参考指標》

- ・相談支援センターの院外相談件数
- ・相談支援センターの患者サロン参加者数
- ・相談支援センターにおけるピアサポーターによるがん相談の実施

<p>3 がん患者・経験者等の就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境と相談支援体制づくり ・仕事や家庭生活と治療の両立支援 	<p>3 がん患者・経験者等の教育支援・就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養中においても適切な教育を受けることができる環境の整備（国） ・復学・就学支援等，療養中の生徒等に対する特別支援教育のより一層の充実（国） ・拠点病院等の相談支援に携わる者に対する労務関係の知識を身につけるための研修の実施（国） ・がん患者に対する治療と職業生活の両立支援についての周知（国） ・「両立支援コーディネーター（仮称）」，主治医，会社・産業医による，患者への「トライアングルサポート体制」の構築（国） ・拠点病院等と公共職業安定所との連携の推進（国） ・がん患者の再就職後の就労継続状況の調査の実施及び再就職支援への反映（国） 	<p>3 がん患者・経験者等の教育支援・就労支援</p> <p>※当該分野の詳細な議論については、「治療と職業生活の両立支援研究会@ひろしま」（会長：県立広島大学大学院 教授 木谷宏）にて行う。</p> <p>◆<u>学習と治療の両立支援</u> ⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>◆<u>仕事や家庭生活と治療の両立支援</u> ◆<u>働きやすい職場環境と相談支援体制づくり</u> ⇒国の状況に応じて対応</p> <p>(県)相談支援センターが相談内容に応じた適正な情報を入手しやすい連携環境を構築する。</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>(県)県民や県内企業に対して，治療と職業生活の両立支援の必要性に関する普及啓発に取り組む。（広島大学病院ではハローワークによる相談を実施中）</p> <p>⇒国の調査結果を受けて対応を検討</p>
---	---	---

	<p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや社会保険労務士等との連携体制づくりを行っている相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における治療と仕事の両立が可能となる社内制度の整備の推進（企業，国） ・両立支援に係る相談対応や企業の個別訪問指導などの支援の実施（産業保健総合支援センター） ・「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の更なる普及（産業保健総合支援センター） ・経営者等に対する啓発セミナーの開催 ・がん患者が働きやすい社内風土作り（企業） ・傷病手当金の支給要件等の検討（国） ・がん相談支援センターの相談員と「両立支援コーディネーター（仮称）」の連携モデルの構築による両立支援を実現化するためのプランの普及（国） ・医療機関向けの，企業との連携のためのマニュアルの作成及び普及（国） 	<p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(県)「Team がん対策ひろしま」等を活用し，県内企業に対して積極的に優良な取組内容等の情報発信に取り組む。</p> </div> <p>⇒産保センターにおいて対応</p> <p>⇒産保センターの取組に対する支援</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(県)関係機関と連携して，積極的な普及啓発に取り組む。</p> </div> <p>⇒産保センターにおいて対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(県)関係機関と連携して，本県独自のセミナー開催にも取り組む。</p> </div> <p>⇒企業と連携して実施</p> <p>⇒国において対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(県)関係機関と連携して，積極的な普及啓発に取り組む。</p> </div> <p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや社会保険労務士等との連携体制づくりを行っている相談支援センターの数 ・「Team がん対策ひろしま」として評価する民間企業等数（再掲） ・治療と職業生活等の両立支援に係る企業診断指標の創設
--	---	--	--

<p>現行計画での項目なし</p> <p>「2 がん患者・家族等への相談対応」の中で、小児がん患者・経験者への長期的なフォローアップ（相談支援体制づくり）について記載しています。</p>	<p>4 ライフステージに応じたがん対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者に対する長期フォローアップに関する教育を充実させ、長期フォローアップ体制を整備。晩期合併症対策を専門とする医療体制の構築と、晩期合併症が少なくなるような研究の推進（国） ・医療従事者と教育関係者との連携強化とともに、療養中においても適切な教育を受けることのできる環境整備や、復学・就学支援等特別支援教育のより一層の充実（国） ・小児・AYA世代のがん患者のフォローアップに関して、晩期合併症への対応、保育・教育・就労・自立に関する支援を含め、ライフステージに応じて成人診療科と連携する切れ目のない体制整備を推進（国） ・小児・AYA世代のがん経験者の就労について、医療従事者間及び職業安定所等就労支援に関する機関や患者団体との連携を強化 ・緩和ケアに従事する医療従事者は、小児・AYA世代のがん医療に携わる診療従事者と診療方針等を共有するとともに、入院中だけでなく外来や在宅においても連携できるよう必要な方策を検討（国） ・認知症を合併したがん患者や看取り期における高齢のがん患者の意思決定支援を図るための検討（国） ・高齢のがん患者とその家族の意思決定に沿った療養生活を支えるための方策の検討 	<p>4 ライフステージに応じた支援</p> <p>◆小児・AYA世代への支援</p> <p>⇒国において対応（医療分野で検討）</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>（県）引き続き広島大学病院との検討を進めるとともに、教育委員会と連携した取組を推進する。</p> </div> <p>⇒国と同様に対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>（県）広島大学病院及び関係機関等と連携し、課題の検討及び連携体制の整備を推進する。</p> </div> <p>⇒国の検討状況に応じて対応（医療・緩和ケア分野で検討）</p> <p>◆高齢者世代への支援</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>《分野目標及び参考指標》（検討中）</p>
--	---	--